英語ディベート　東北地区 FR (FR = for Freshman / for Friendship)イベント

及びジャッジ講習会のご案内

主催：　一般社団法人　全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)

共催：　岩手県高等学校教育研究会英語部会

後援：　岩手県教育委員会

日時：　2018年８月10日（金）11日（土）

場所： 岩手県立盛岡第一高等学校（岩手県盛岡市上田３－２－１）

運営： 全国高校英語ディベート連盟　普及委員会

　　　　岩手県高等学校教育研究会英語部会英語ディベート担当

１　目的・趣旨

このイベントの初日（午後）は，基本的に一年生を対象にしたもので，とりつきやすい短めの試合形式（FR方式：８.節参考）で他校とディベートをする機会を設けるとともに，全くの初心者やこれからディベートを始めてみたい学校に，英語ディベートの普及を図る二つの部門を設けています。二日目（午前）は，指導者・上級生もまじえ，ディベートの審査にあたるジャッジの育成を図る部門を開きます。

HEnDA主催の全国高校生英語ディベート大会は，お陰様で年々，都道府県での大会への参加校も増え，質的にもきわめて高いレベルを行うディベートが行われております。HEnDAとしては，この動きをさらに広げるために，初心者から徐々にレベルアップできる方式を普及させ，指導者・ジャッジのレベルアップも図りたいと考えております。

先生方にとっては，授業やディベートの教え方などについての生きた実験室でもあり，意見交流の場所ともなります。どうか生徒のみなさまともどもふるってご参加 Make Friendsしてください。

（１）A部門　FR 初心者講習会＋体験試合

　まったくの初心者むけの部門です。最初にまずはディベートとは何かを考え，試合をするための基本事項についてレクチャーをうけ，準備をしてみます（講義担当は，HEnDA普及委員）。その後，一試合だけ，ディベート体験を行います（肯定・否定どちらか一方，ランダムに指定）。当日使う，ディベート論題は，当日発表になりますが，きわめてとりつきやすい論題となります。他校との交流会もあり，Make Friendsの機会ともなります。

【チーム構成・参加資格】

　１チーム４人単位を基本とします（４人単位で試合は行うので，体験試合では，その場で他校の生徒とチームを組むこともありえます。下記の通り，各校はジャッジ派遣義務がありますが，ジャッジを８人おきには確保しないといけないので，参加８名を越えるごとにジャッジを１人追加派遣義務が生じます）。

　基本的に，一年生が対象となります。（ただし全くの初心者，とりわけこれからディベートを始める学校の生徒は，学年を問いません）

（２）B部門　FR 論題当日発表型　2試合

　論題は当日発表，HEnDA FR（短縮版）フォーマット　肯定・否定　各１試合

事前準備が少なくても取り組みやすい，簡単な論題でディベートする部門です（論題に関わる，簡単な資料も当日朝に配布します）。一から自分たちで作戦を考え，英語ディベートの面白さを体験し，他校とMake Friendsしてください。注：競争型の大会ではありません（各試合の勝敗はつけますが，総合順位はつけません）。

【チーム構成・参加資格】

　１チーム　４－８人　（どの試合に，どの生徒がでるかは自由です。４人を超える場合，一試合だけしか出場できない生徒がでることはご留意下さい。３名の場合は要相談）

　基本的に，高校一年生が対象となります（イベント２日目から参加する場合，事前講習はないので，校内で試合を１回以上は体験したことがある生徒達を想定しています。一年生だけではチームを組めない場合や，二年生であっても試合経験がほぼない場合に限り，二年生の出場も可とします。）

　各校とも，最大２チームまで（つまり各校試合に参加できるのは，最大生徒16名まで。ジャッジ派遣義務があります。２チーム出場の場合，ジャッジ２名派遣が必要となります。）

（３）C部門　HEnDA全国大会　「安楽死」論題モデル・ディベート＋ジャッジ講習会

　今年度12月に行われる，全国高校生英語ディベート大会 in 福井の論題 “Resolved: That Japan should legalize voluntary active euthanasia.”を用いた，生徒有志によるモデル・ディベートを行います。それを観てのジャッジ講習会を行い，全国大会の論題・大会ルール・審査基準について，質疑応答も受け付けます。（A,B部門に出場した生徒さんも是非，合流してください）。

　参加制限はありません（教室の関係で合計300名くらいまでを想定しています）。

２．会場　岩手県立盛岡第一高等学校

集合　第１講義室（本校舎４階）

（初日は他行事が開催されていますので、妨げにならないように校内を移動してください。）

　　試合教室：初　日：普通教室　８教室

　　２日目：普通教室　12教室　＋　白堊ホール（300人収容）

３．参加申込

　観戦も含め，事前申し込みが必要です。この文書の末尾の「参加申込書」にご記入の上，以下の宛先にメールで添付の上，お送りください。

ptf9-y-mizusawa@iwate-ed.jp　　　７月23日（月）　締め切り（厳守）

【チーム数】

　A部門　最大16チームまで受付（基本的に，先着順となります）

　B部門　最大24チームまで受付（基本的に，先着順となります）

原則としてA,B両部門に参加してください。

　参加校数が多い場合は各校１チーム限定にする場合があります。

４．参加料：無料（全ての部門）

　　交流会では軽食・飲み物を各自持参して歓談する企画を考えております（参加校に後日連絡）。

　ジャッジの派遣に関わる交通費等は，各校でご負担をお願い申し上げます。

５．参加条件：ジャッジ派遣義務

　各校は，１チームにつき，必ず１名ジャッジを派遣する義務があります。

　　体験試合をする関係で，参加８名を越えるごとに１人派遣義務があります。

　　下記のようにジャッジ資格を設けていますが、ジャッジ初心者向け講習会もイベント開催中に行いますので、安心してご参加ください。

　【ジャッジ資格】

1.　社会人または大学生三年生以上

2.　HEnDAディベート形式やルール，ジャッジの基本的方法を最低限理解していること

3.　英語で試合判定を述べられること（ジャッジ未経験者は日本語でも可）

4.　顧問やALTなど引率・付き添いの先生方の兼任も可能

5.　過去のディベート・ジャッジ経験は不問

※　生徒に楽しい気持ちで帰っていただけるジャッジングをお願いします！

ジャッジの派遣は，全て各校の責任でお願い申し上げます。

６．スケジュール

【８月10日（金）】

12:50 　受付開始（会場では模擬試験が行われていますので妨げにならないように移動してください）

13:15 　開会　A部門：　FR 初心者講習会＋体験試合

13:30 　レクチャー（HEnDA全国普及委員　南山高等・中学校女子部　教諭　中島正喜　氏）

　 　初心者向けレクチャー「英語ディベートとはなにか」（仮題）

14:30 　ディベートの準備をしてみよう（ジャッジ初心者に簡単なレクチャーもあります）

15:30 　ディベートの試合をしてみよう（ジャッジを体験してみよう）

16:30 　生徒交流会（教室ごと）

　17:00　 解散、宿泊場所へ移動

　【８月11日（土）】

8:15 受付開始

8:30 　開会　B部門：　FR 論題当日発表型　２試合

8:45 　論題発表，試合にむけての準備

9:30 　第一試合

10:30 　第二試合

11:45　　C部門　全国大会「安楽死」論題モデル・ディベート＋ジャッジ講習会

（判定と，ジャッジについての質疑。中央大学文学部 教授　矢野善郎　氏）

13:00　 閉会予定

７．ジャッジ講習会，ジャッジ・ミーティング

C部門だけでなく，A,B部門も広い意味ではジャッジに向けての講習会になっています。

（A,B部門のジャッジも不足しがちです。生徒を伴わない，ジャッジとしてだけの参加も大歓迎します）

　このイベントに参加しただけでは，全国大会のジャッジ資格を満たせるわけではありませんが，ルール，論題理解のための重要な機会となります。

８月10日（金）14:30-15:15 A部門ジャッジ・ミーティング（生徒が準備中にミーティング）

８月11日（土） 8:45- 9:20 B部門ジャッジ・ミーティング（生徒が準備中にミーティング）

８.　HEnDA FR部門 (FR = For Freshman / for Friendship)

【趣旨・目的】

　HEnDAは，これまでのHEnDA形式ディベートの様々な蓄積を生かし，さらに英語ディベートを始めたい生徒・学校が取り組みやすく，Make Friendsを実践し，しかも将来の本格的なHEnDAディベートにスムーズにステップ・アップしやすい，「FR (FR = For Freshman / for Friendship)部門」を併設し，普及につとめます。

【特徴】

1.　論題は，初心者にとってとりつきやすいテーマで行う。

a) 大会当日に発表する方式

b) 準備の負担を軽減するために数週間前に発表する方式

など，目的に合わせて考える。

2.　HEnDA全国大会フォーマットより，少しだけ短めの試合形式（最初の質疑以外のスピーチを１分短縮。試合時間合計32分）

3.　その他の形式やルールは，HEnDAフォーマットと基本的に同じ

A)　チームワークを鍛えるために４人制

B)　相手のスピーチ中の発言・質問は禁止。質疑応答を設ける

C)　事実・証拠の使用は，奨励（当日発表型の場合は，資料配付も）

D)　論題は，大会の中では同一。肯定・否定を行う（試合ごとの即興型ではない）

E)　判定は点数制でなく，本大会同様に内容（争点）で

4.　大会形式の例

たいてい一日で終了　２～４試合程度（必ずしも優勝などは決めなくてもよい）

講習会と組み合わせることもある。

5.　ジャッジは，各校に派遣義務を課す。　それによりジャッジ研修の機会ともする。

例えば８人登録，出場選手が毎試合異なるなど，参加の自由度を高める。

【論題例（今回のイベントで使うものとは異なります）】

「日本の高校生の修学旅行は（国内ではなく）海外に行くべきである」

Japanese high school students should go to school trips in foreign countries.

「高校生以下のスマートホンの所持を禁止すべきだ」

Owning smartphones should be banned for students who are still in high schools or under.

「日本は，オーストラリアのように選挙の棄権者を罰するべきだ」

Japan should follow Australia and penalize those who didn’t vote on elections.

「日本の高校は，制服を廃止（導入）すべきだ」

Japanese High schools should abolish (introduce) school uniforms.

「高校生のアルバイトは短時間なら許容すべきだ（禁止すべきだ）」

High school students should (not) be allowed to have a short-hour part time job.

【FR試合形式　A,B部門で使用予定】

|  |
| --- |
| ① 肯定　立論Affirmative Constructive Speech 3分　　　　準備時間Preparation Time 1分② 否定　質疑Questions from the Negative 2分③ 否定　立論Negative Constructive Speech 3分　　　　準備時間Preparation Time 1分④ 肯定　質疑Questions from the Affirmative 2分　　　　準備時間Preparation Time 2分⑤ 否定　アタックNegative Attack 2分⑥ 肯定　質疑Questions from the Affirmative 1分⑦ 肯定　アタックAffirmative Attack 2分⑧ 否定　質疑Questions from the Negative 1分　　　　準備時間Preparation Time 2分⑨ 肯定　ディフェンスAffirmative Defense 2分⑩ 否定　ディフェンスNegative Defense 2分　　　　準備時間Preparation Time 2分⑪ 肯定　総括Affirmative Summary 2分⑫ 否定　総括Negative Summary 2分計 32分 |

※　各スピーチともほぼ，1分ずつ短縮されています。

※　ルール，スピーチの役割などは，全国大会と変わりません。

※　FR形式については，今回のイベントを承け，さらに改良を進めていく予定です

９．宿泊について

　遠方の高校のみ宿泊施設として盛岡第一高等学校白堊記念館を利用できます。宿泊希望する高校は参加申込する際に、宿泊人数（男女別）を付け加えてください。

（１）費用　　1泊2日　3,000円

宿泊費、食事３食分（10日夕食、11日朝食、11日昼食）

（２）部屋　　部屋割りは、男女別とし同校の生徒同士になるようにはいたしますが、人数の関係上、

他校との相部屋になることもございます。

10.　申込フォーム

以下のフォームの該当する項目を全て記入の上，メール文面にカット・アンド・ペーストとしてください（Wordファイルは添付不要）。

|  |
| --- |
| 学校名：都道府県名：引率者名：引率者　御身分（例，教諭）：引率者email：引率者　携帯：生徒数（男・女・合計）：ジャッジ名（必須　日本語）：ジャッジ名（必須 in alphabet）：ジャッジ 身分（例，教諭，大学3年）：ジャッジ連絡先（emailか携帯）：その他特記事項（Cに参加しないなど）： |

※生徒数が８名を超える場合は，必ずジャッジ情報を複数名分ご記入ください

　※複数チーム（最大２）を希望する場合，その旨明記し，上記の書式をコピーし，２チーム分にわけて記載してください。必ずチームごとに別のジャッジを手配してください。

※A,B部門にジャッジとして参加されたい先生方などは，以下の情報を人数分ご記入ください。

|  |
| --- |
| ジャッジ名（必須　日本語）：ジャッジ名（必須 in alphabet）：ジャッジ 身分（例，教諭，大学3年）：ジャッジ連絡先（emailか携帯）：その他特記事項（ジャッジとしてA部門に参加希望など）： |

個人情報の利用目的・取り扱い

2018年８月10，11日付けディベート・イベントの参加申し込みフォームにご記入いただく内容は，大会前後の連絡，及び今後のディベート教育普及を図るために当連盟内の会議などで利用することがあります。取り扱いについては情報の安全に十分に配慮し，厳重に取り扱います。

本イベントについては，新聞等の取材や，ホームページで公表させていただくことがあります。あらかじめご了承下さい。また当連盟で許可をした組織・団体（主催・共催団体等）によるＶＴＲ・写真撮影およびその映像・写真の利用による活用をご了承いただきたいと考えております。個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは，申し込み同様，下記の窓口にて承ります。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人全国高校英語ディベート連盟　普及委員会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電子メール アドレス : ptf9-y-mizusawa@iwate-ed.jp

７月23日（月）　申し込み締め切り（厳守）